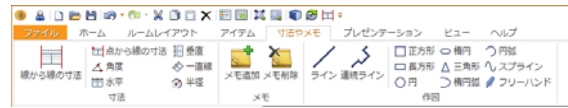


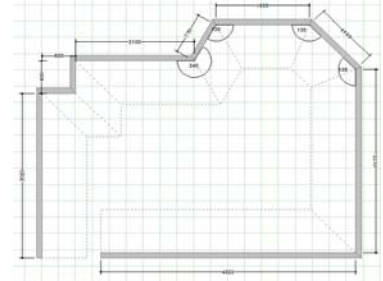
1-2. V11 新機能と主な変更点

V11の基本的な操作は、V8.1 からほとんど変わりありません。V11での新機能や主な変更点について、以下に紹介します。もっとも変わったレンダリング機能については、1-6. **レンダリング** で説明します。

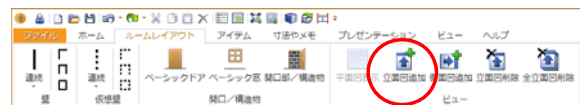
- 1) インタフェースが **リボンモード** になり、タブ(メニュー)ごとに、その下に表示されるリボンで直感的に操作できます。



- 2) V8.1 では、壁は開始位置によって伸びていく方向が決まり時計回りが基本で、反時計回りや斜めの壁のときは、右クリックして操作する必要がありましたが、V11では、どこからでも任意の方向に壁を伸ばすことができます。
(どの位置からでもマウスで任意の方向に壁を伸ばすだけでOK)



- 3) 立面図の追加は、**[配置ゾーン]** のダブルクリックでも可能になりました。または、**[配置ゾーン]** をクリックして、**[ルームレイアウト]** タブ ⇒ **[立面図追加]** ボタンをクリックします。また、立面図追加直後、平面図の壁やアイテムが立面図にもぐり込むことなく、平面図内に表示されるようになりました。

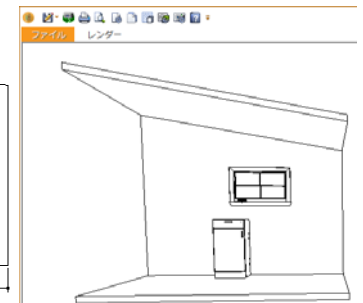
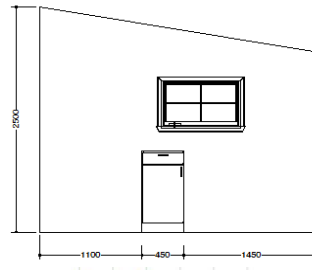


- 4) **[属性]** は、アイテムのダブルクリックでも開けるようになりました。または、従来どおり、アイテムを右クリックして、**[属性]** をクリックします。また、アイテムを選択して、画面右上の **[属性Lite]** をクリックし、ここで基本寸法(幅、奥行、高さ)などを変更することもできます。

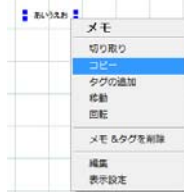


- 5) **[表示設定]** を開くには、平面図や立面図のダブルクリックでも可能になりました。または、従来どおり、平面図や立面図を右クリックして、**[表示設定]** をクリックします。

- 6) 両端の高さが異なる壁(斜めの壁)が可能になりました。**[壁のプロパティ]** で、最初と最後の高さを変更します。それに付く天井も自動的に斜めになります。通常の壁と同じように **[配置ゾーン]** として使え、窓やドアも配置できます。



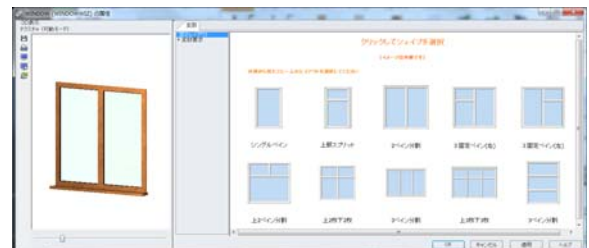
- 7) **メモ** を [コピー] して [貼り付け] が可能になりました。また、メモをダブルクリックすると直接編集が可能になりました。(V8.1 では、右クリックして、**[編集]**)



- 8) **[前後]** や **[上下]** に移動したアイテムを **[複製]** 時、その移動寸法を保持したまま、複製が可能になりました。(メイン画面右下 左端の **[前後/上下の値保持]** アイコンが有効時)

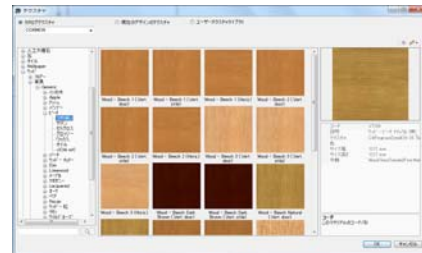


- 9) **窓ウィザード** で窓枠の変更が可能になりました。**ROOM_M** カタログより **WINDOWWIZ** を配置します。

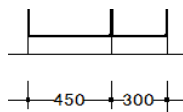


- 10) V8.1 でレンダリング時の次の不具合は解決しました。
レンダリングを繰り返す内に、シンクがカウンターで埋まったり、カウンターが浮いたようになる不具合 ⇒ 解決
同じく、レンジフードの残像のようなものが表示される不具合 ⇒ 解決
壁を開いて 陰線で表示すると、床までの余計な直線が表示される不具合 ⇒ 解決

- 11) **テクスチャの種類**が約27,800件(V8.1の約5倍)になり、グループごとにテクスチャがイメージで一覧表示されます。
(1件ずつクリックしてイメージを表示する必要がない)
素材によっては、「つや消し」「セミグロス」「ワックス」等のバリエーションがあります。
左下の検索フィールドで、コードによる指定もできます。



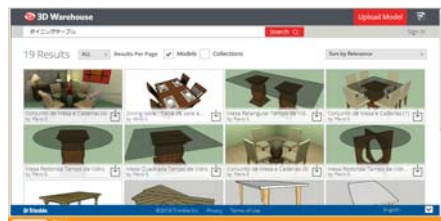
- 12) 寸法線の矢印に**ドット(点)**が追加されました。



- 13) **SketchUp 機能** SketchUp のサイトから3Dデータをダウンロードして、デザインに取り込み、レンダリング、平面図、立面図に反映します。
(V11.8では、SketchUp 2016 まで対応)

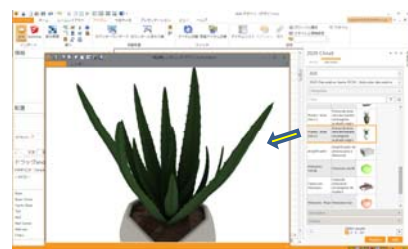
[アイテム] タブ ⇒ [SketchUp] ボタン

「ダイニングテーブル」の検索例 ⇒



- 14) **2020 Cloud 機能** WEB上の簡易カタログから家具、調度品などのアイテムを1点ずつ配置して、レンダリングに反映します。

[アイテム] タブ ⇒ [2020 Cloud] ボタン



- 15) **照明ウィザード 機能** SENSIO 照明カタログをインストールすると吊戸の上面、下面、ガラス吊戸の内部、ベースキャビネットの幅木部分等にパントリーなどを自動配置できます。

[アイテム] タブ ⇒ [照明ウィザード] ボタン

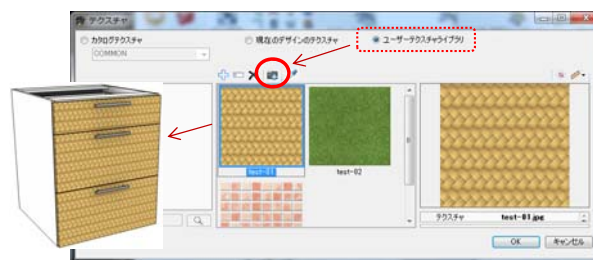


- 16) **部分表面 機能** 壁や床の一部に別のテクスチャを貼り付けることができます。コーナーを次々クリックして複雑な形状も作れます。

[アイテム] タブ ⇒ [部分表面] ボタン



- 17) 独自のテクスチャを追加して利用できます。
独自のテクスチャを [ユーザーテクスチャライブラリ] に読み込んで変更したいドア材等のテクスチャに設定します。



- 18) さらに**高精細なレンダリング** や **360° パノラマ・ビュー** が可能になりました。



他にも新機能がありますが、未解決の不具合や文字化け等があり、V11.9 以降での解決に向けて修正中です。

(参考レンダリング)

SketchUp より

テーブル、ティーセット、ポウル、
吊り照明、プランター

2020 Cloud より

ベッド、椅子、パネル(花)、自転車

部分表面で

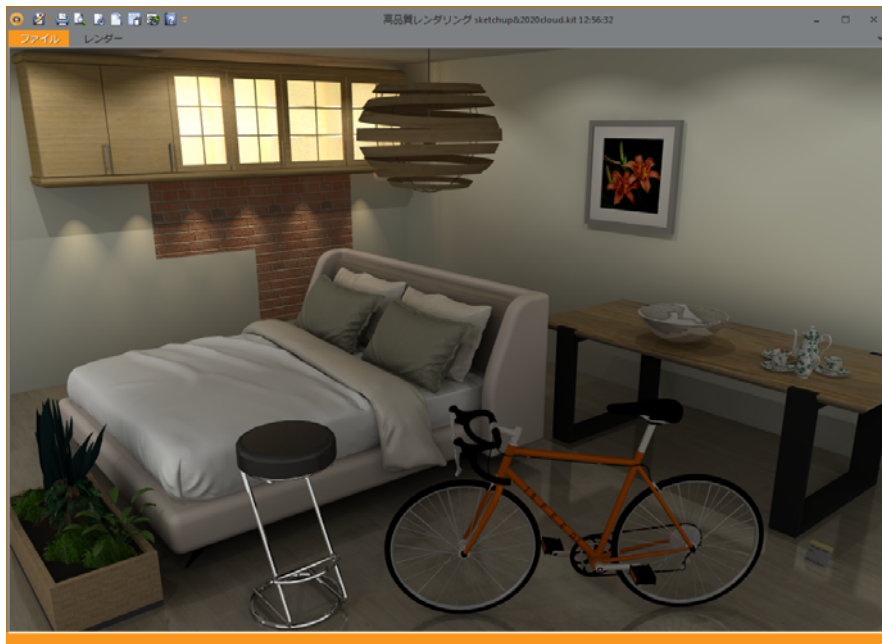
吊戸下のタイル(レンガ調)

Sensio照明カタログ より

吊戸上下とガラス吊戸内の自動照明

SketchUp や 2020 Cloud から
ダウンロードした3Dデータは、
保存して何度でも再利用できます。

このように、V11は、キッチンのみならず
広くインテリアデザインツールとしても
ご利用いただけます。



以上